

# 「地域とともに歩む、ときわっ子」

## 越前町立常磐小学校

### 1 取り組みの概要

#### (1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	4回
中学校区を単位とした協議会	4回
地域及び家庭への学校公開	11回(のべ)45日

#### (2) 地域人材の活用(のべ人数)

講師・ゲストティーチャー	35人
授業ボランティア(含:低ボラ)	8人
登下校支援ボランティア	185人
その他( )	人

#### (3) 特色ある活動

テーマ「ふるさと教育」

#### 具体的活動内容

地域の福寿会の方に指導を受け、学校田で手作業による田植え、稲刈り、はさ掛け、脱穀を行っている。田植えはわくを転がし、稲は鎌で刈りとりはさばにかけ、脱穀は足踏み脱穀機を使って行った。低中学年は悪戦苦闘しながらもがんばって取り組んでいた。高学年は毎年経験をしているので、慣れた手つきで作業できていた。地域の方と一緒に汗を流し交流することで、地域の一員としての自覚や地域の方への感謝の気持ちが育ってきている。

そして収穫されたもち米で、1月に地域の方、保護者を招いてもちつき大会を行った。全校児童は39名だが、参加者は100名を超え、とても賑やかなひと時であった。高学年は前日もち米を洗い、当日は一緒にもちをついたり丸めたり、またお年寄りに雑煮やおろしもちを配って歩くなど下級生や参加者の方々に喜んでもらえるようとてもがんばっていた。こうした、自然と人、人と人とのつながりのある教育活動を今後も続けていきたい。



(田植え前のわくころがし)



(足踏み脱穀)



(収穫したもち米でもちつき大会)

#### 成果と課題

地域のお年寄りとの交流を深めながら、昔ながらの米づくりについて教を乞うことで、ふるさとのよさやふるさとへの愛着心を育てることができた。また学校に対し温かい理解と協力を得ることができ、家庭、地域との連携強化、開かれた学校づくりの実現に大きな支援をいただくことができた。課題は、お年寄りの方との連携や交流は活発なので、違った年代の方々との交流も図れるよう教育活動の工夫を行っていきたい。